

福島県議会議員

# 渡辺康平

## 県政レポート

第2号



## 令和2年2月県議会閉会

2月県議会は2月14日から3月19日までの35日間の日程で開会され、令和2年度一般会計当初予算「1兆4418億3600万円」を可決しました。

当初予算の主な内容は、昨年10月の台風第19号等による災害対応として、総額587億5776万円が計上されました。これは道路・河川・農地などの改良復旧に427億2473万円、中小企業等グループ補助金に98億6885万円など、自民党議員会の要望を基に予算化されたものです。

また健康長寿の県づくりに向けた予算は、地域医療介護総合確保事業（病床機能分化・連携・在宅医療の推進）として11億2511万円、地域包括ケアシステム構築支援事業として4546万円が計上されました。

さて、中国発祥の新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、緊急に対応するために自民党議員会では3月10日に対策本部を設置しました。2月県議会最終日には4億6100万円を追加する補正予算を可決しました。医療機関における感染患者の受け入れ環境を整備するとともに、衛生研究所の検査機器を整備するなど、医療体制の充実に向けた補正予算の内容となっています。

今後、感染症の拡大防止策だけではなく、県内経済の大幅な後退に対して、大規模な経済対策が必要となっています。景気と雇用を守るために県議会最大会派の自民党議員会の一員として“現場の声”を届けていきます。

渡辺こうへいへの連絡先

〒962-0012 福島県須賀川市陣場町124  
TEL 0248-94-5380 FAX 0248-94-5382

## 一般質問の結果をご報告します

### 釈迦堂川の水害対策について

Q 県は台風第19号による浸水被害を踏まえ、釈迦堂川の整備にどのように取り組んでいくのか。

A 土木部長

釈迦堂川の整備については、台風第19号による洪水が堤防を越え、浸水被害が発生したことから、阿武隈川緊急治水対策プロジェクトによる国の整備に併せ、河道掘削や護岸工などを集中的に実施していく。

### 危機管理の強化について

Q 市町村の防災力強化のため、地域防災マネージャー制度の活用を周知すべきと思うが、県の考えは。

A 危機管理部長

地域防災マネージャー制度については、専門的知見を有する防災担当職員が配置され、市町村長などを直接補佐して、円滑な応急対応や平時における訓練指導を行うものであり、国において財政措置もなされていることから市町村などの防災力強化に極めて効果的であると受け止めている。県の防災専門監が、発災時に防災関係機関の円滑な連携調整を図った実績も含め、市町村へ周知を図っていく。

### 企業の防災減災対策支援について

Q 県は、中小企業が行う防災・減災対策など、事業継続のための支援にどのように取り組んでいくのか。

A 商工労働部長

中小企業の事業継続について、新年度はさらに小規模事業者の計画策定を商工会などと市町村が連携して支援するためのガイドラインの策定や、商工会などへの法定経営指導員の配置などにより、事業継続のための支援に取り組んでいく。

### 風評・風化対策について

Q 韓国における本県への風評被害を助長する情報発信について、知事の考えを尋ねる。

A 内堀知事

本県への風評被害を助長する情報発信について。今回のポスターのような風評を助長する情報発信が行われていることは県民を深く傷つけるもので

あり、非常に残念である。これまでも、風評・風化対策として、駐日外交団や海外メディアの県内視察の積極的な受け入れなどにより、福島への理解が深まるよう各部署が連携して取り組んできたところである。また政府に対しては国内外への正確な情報発信を強化するよう、国内外への正確な情報発信を強化するよう、様々な場面を通じて求めている。

### 福島空港の利活用について

Q 県は、台湾チャーター便の再開にどのように取り組んでいるのか。

A 観光交流局長

台湾チャーター便は、昨年4月からの定期チャーター便の運航開始以降も多くの皆様にご利用いただき、特に台湾からの便は高い搭乗率を保つなど、本県と台湾との交流の懸け橋として重要な役割を担ってきた。現在、これらの実績を現地の航空会社に示しながら、北関東を含む利用圏の広さや本県観光地の魅力を伝え、早期再開に向けた取り組みを進めている。

Q 県は、福島空港の二次交通の充実にどのように取り組んでいくのか。

A 観光交流局長

福島空港の二次交通については、新年度はレンタカー付きパック商品の造成等を促進するとともに、福島空港と県内各地や栃木県、茨城県とを結ぶ乗合タクシーの運行区域の拡大、運行事業者の増加に努めており、外国人観光客の利便性向上も含め、二次交通の充実を図っていく。

### 国道118号天栄村鳳坂峠について

Q 国道118号天栄村鳳坂峠から牧ノ内地内までの、整備状況と今後の見通しについて。

A 土木部長

国道118号については、鳳坂工区において、トンネルの工事が掘削延長で約4割の進捗となっている。引き続き2020年代初頭の完成に向け、重点的に整備を進める。また、残る牧ノ内地内までの区間については、交通量など道路の利用状況を踏まえ整備の必要性を検討する。

### その他

「5Gの整備」「高等学校の主権者教育推進」について質問しました。



## 福祉公安委員会での質疑応答

### ●新型コロナウイルス感染症について

渡辺

医療従事者の二次感染と院内感染を防止するための県の対応は？

指定医療機関では陰圧室を備え、感染病棟の隔離、医療従事者のマスク、ガウンなどの装備を整えている。

回答

### ●口腔ケアの推進について

渡辺

口腔ケアの推進について、新年度の取組みは？

特定健診や特定保健指導において、歯科診療の奨励を進めていく新たな取組みを、県歯科医師会と連携して検討していく。

回答

引き続き委員会にて質疑を実施していきます

## 地域の要望を届けていきます



### 県道289号須賀川保土原区内

3月14日、県道289号下松本鏡石線の須賀川保土原区内における道路法面修繕工事が完了しました。



### 須賀川市 越久区内

1月30日、須賀川市越久区内の岩根川に、台風19号ではがれた護岸の「かごマット」の撤去工事が完了しました。